

JOYO BANK NEWS LETTER

2025年4月21日

AIの戦略的活用に向けたデータプラットフォームの導入について ～データ利活用の強化にむけた取り組み～

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 藪田 健二、以下「MRI」）が提供するデータプラットフォーム「OVHcloud Data Platform」および分析アプリケーション「ForeRetail」を導入しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本件導入により、当行内に蓄積されたさまざまなデータをAIで分析できる環境が整備されます。MRIの知見を活用し、AIを駆使したデータ分析を実施することで、得られたノウハウを組織横断的に共有・活用し、DXによる付加価値創出を目指します。さらに、AIを活用したマーケティングの高度化により、お客さま一人ひとりのライフステージやご関心に応じた最適な提案やきめ細かなサポートを提供し、地域のお客さまの豊かさ向上に貢献します。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンに掲げ、デジタル技術の活用により地域のお客さまへ新たな価値を届け、地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

記

1. 導入目的

- ・当行に蓄積されたビッグデータから、個人のお客さま一人ひとりに最適な金融商品の提案を実現する。
- ・本プラットフォームに搭載された機能※により、各業務部門の自律的なデータ活用を実現する。
- ・過去の分析過程や結果を蓄積し、本プラットフォーム上でノウハウを組織横断で共有することで、スキルの底上げとデータ分析の高度化を実現する。

※ データ収集、データ加工、AIモデリング、可視化、自動化等のデータ利活用にかかる機能

2. 「OVHcloud Data Platform」及び「ForeRetail」の概要

「OVHcloud Data Platform」	・「データ収集」「データ加工」「AIモデリングと機械学習」「可視化」「アプリケーション開発」など、金融データ分析・利活用に必要な基本機能をすべて備えるプラットフォーム。
「ForeRetail」	・上記プラットフォーム上で稼働するアプリケーション。 ・銀行が持つビッグデータを、行員が自らAIを用いて分析・業務へ活用できる機能が搭載。



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp

■ OVHcloud Data Platform でのデータ利活用



出所：株式会社三菱総合研究所

【株式会社三菱総合研究所 企業概要】

名 称	株式会社三菱総合研究所
設 立 日	1970年5月8日
代 表 者	代表取締役社長 簗田 健二
所 在 地	東京都千代田区永田町二丁目10番3号
事 業 内 容	シンクタンク・コンサルティングサービス、ITサービス
U R L	https://www.mri.co.jp/

以上